

テーマ：いろ

対象年齢：5 歳児

荏原西保育園(品川区)

テーマの設定理由：今年度は園庭に草花を植えて育てる機会を昨年以上に作り、草花にもたくさん触れてきた。草花を摘んで遊ぶことも増え、色の変化にも興味をもち始めていた。夏になり、草花だけでなく絵の具、インクなどを用いた色水遊びを通してさらに色に興味関心をもつようになった

環境デザイン

〇用意したもの〇

- ・草花（赤しそ、マリーゴールド、朝顔、ひまわり、コスモス、オシロイバナ・ピーマンなど）
- ・すり鉢・すりこ木・ペットボトル・プラカップ

活動事例①：園庭の草花で遊んでみよう



はっぱをこすると、はっぱのときのいろより、こいいろがでてきておもしろいね！

マリーゴールドは、こいきいろ！



探究活動の実践：

園庭に様々な植物を植え、栽培した。葉っぱ、花、実などを遊びの中で使い、つぶしたり、水を混ぜてみたりと工夫していた。

保育者の振り返りと気づき：

園庭に咲く草花を使って、すり鉢ですりつぶしてみると、思った通りの色になったり、ならなかったり・・・を繰り返して色に興味をもち始めたので、いろいろな材料を使って色にさらに興味がもてるようにしていきたいと感じた。

活動事例②：色水を使って遊んでみよう

探究活動の実践

草花や絵の具などを使用しての色水遊びを楽しむ中で、透明感のあるインクを使用して色水あそびを行った。最初は好きなように混ぜ合わせて色を作ることを楽しんでいた子どもたちだった。翌日、マゼンタ・シアン・イエローのインクをペーパーを使って染み渡らせるとどうなるのかという実験を行った。実験を行う中で、色が混ざっていく様子を間近で見た子どもたちは、色が合わさって変化していく様子を時間を追って興味深く観察し、次の色混ぜ実験に意欲をもって取り組んでいた。



最初は4色使いました



周りが青く見える！



何色ができるかな？



環境デザイン

○用意したもの○

- ・インク4色・ポンプ・プラカップ(人数×5)
- ・雑巾・水入りペットボトル
- ・ペーパータオル・たらい

実験！3原色。それぞれ混ざった色は何色になる？



色のグラデーションがきれい！



保育者の振り返りと気づき：透明感のあるインクを使用することで、色の変化や光が当たるとキラキラ輝いている様子にさらに興味を高めていた。水の量やインクの量を調整しながら色を作ることを楽しんでいたのも、作った色水を他に活かすためにはどうしたらよいかを考えていく必要がある。

活動事例③：作った色水を飾ろう

環境デザイン

○用意したもの○

- ・傘袋・以前作った色水・インクを混ぜた色水
- ・プラカップ(人数×5)・雑巾

いろいろな色ができたね！
とっておきたいな



かさぶくろを、むすんですきないろを
たくさんとっておけるね！



インクは、すきとおっているね。
ひかりにあたるとキラキラできれいだね！



探究活動の実践：

「作った色水をとっておきたい」「もっといろいろな色をつくりたいな…」というつぶやきから、カップだけでなく傘袋を準備すると中に入れて縛り、新たな色を作り出してみたり、友達にどのくらいの分量の差でその色が出来上がったのか聞いたりする姿につながっていた。

保育者の振り返りと気づき：

今までは色を作ることに夢中になっていたが、分量の違いで色の濃淡が出ることに気づき、どの色をどれくらい入れたか配分なども試しながらの色作りに変化した。使う材料や道具によって形を変えたりすることを面白がっていたので今後も様々な方法で楽しめるようにしたい。

活動事例④：色によって感じること

環境デザイン

○用意したもの○

- ・絵の具…赤・青・黄・白・黒
- ・皿…15枚・雑巾・水・色の表・新聞紙

このいろをつくるには、しろを
あかよりも2つぶんおおくまぜて…



部屋の壁や教材棚に色の表があり、い
つでも、みられるようになっているよ



あたたかいいろと、つめたいい
ろに、わけてみたよ

探究活動の実践：

色水の活動から、色の表を設定したことで、「もっと知らない色を作りたい!」、休みの日にランドセルを買いに行った子が「ランドセルでやさしいクリーム色があったけど作れるのかな」などのつぶやきがあり、絵の具での色作りに挑戦した。すると「なんだかこっちは色が太陽みたいに暑そうだね」と色によって受ける印象があることにも気付く姿があった。

保育者の振り返りと気づき：

色の探求を楽しむことで、色から感じる印象があることに気付いたり、身近で知った色は何を混ぜると作ることができるのか考える姿につながっていた。生活の中には様々な色と触れ合う機会がたくさんあり、子どもの興味に寄り添うことで、より探求心や、自分でやってみたい気持ちが育っていくこと、伸びていくことをあらためて知ることができた。